

校長先生の 「いつでも どこでも 玉みがき」 (冬休み号)

		ねん ぐみ なまえ()		
		どんな 玉みがきを しましたか。	玉みがきをして うれしかったと思ったこと かながえたことを 書きましょう。	
令和2年 (ねずみとし) 	12月	25日 (金)	()玉みがき	
		26日 (土)	()玉みがき	
		27日 (日)	()玉みがき	
		28日 (月)	()玉みがき	
		29日 (火)	()玉みがき	
		30日 (水)	()玉みがき	
		31日 (木)	()玉みがき	
令和3年 (うしとし) 	1月	1日 (金)	()玉みがき	
		2日 (土)	()玉みがき	
		3日 (日)	()玉みがき	
		4日 (月)	()玉みがき	
		5日 (火)	()玉みがき	
		6日 (水)	()玉みがき	
		7日 (木)	()玉みがき	

「いつでも どこでも 玉みがき（冬休み号）」について

Q1 「いつでも どこでも 玉みがき（冬休み号）」を子どもが持ってきたが、これは一体何？

A1 「いつでも どこでも 玉みがき」は、長松小学校全校で取り組んでいる、心の教育の一環です。

多くの児童が、思いやりの心などを育むことを目的に毎日の掃除時間に全校で取り組んでいます。冬休みに入り、取り組みが途切れないようにまた、ご家庭にも取り組みの協力をいただくことで、更に効果があるものと思っております。

Q2 「いつでも どこでも 玉みがき」とは、具体的にどんな教育活動なの？

A2

児童が、自ら考え行動できる主体性や道徳性を培うための取り組みです。指示や命令だけで行動するのではなく、これからの社会を信頼され、正しく生き抜くためには、一層の判断力や行動力、規範意識、人・物に対する思いやりなどが強く求められます。これらを培うには、この小学校期の教育は非常に重要だと考えています。

また、学校だけではなく、家庭でも地域社会においても必要とされる人材育成を目指して「いつでも どこでも・・・」としています。

児童には、心みがきを分かりやすく、思いやり玉、気づき玉、がまん玉、しょうじき玉、かんしゃ玉の五つの玉をみがきましょうと指導しています。

*詳しくは別配布の「長松小の自問教育」をご参照ください。

Q3 全員が取り組まなければならないの？ 冬休みの宿題？

A3

このカードは、冬休み用ですが、全員の宿題ではありません。主体的に取り組む、意欲ある児童に取り組んでもらいたいと考えています。

ご家庭でも取り組むように声をかけていただいき、褒めていただけると子どものモチベーションも上がることでしょう。ただし、お年玉等で釣るのではなく、褒めることで意欲を向上させてほしいと思っています。

取り組んだ児童は、3学期始業式に担任に提出するようになります。

このカードは3年生が11月に校長室廊下に置いているポストに投函したカードです。

全校放送でも紹介しました。お母さんから頭をなでて、抱きしめられたことを書いています。

よほど嬉しかったのでしよう。

こういった日常の何気ない会話やスキンシップは、どんな子どもにとっても自己肯定感や自尊心（自分は認められているんだ・・・といった感情）を高める方法だと思えます。

100回の説教よりも、1回のハグが子どもの心を育てる近道かもしれません。

